

事業所名		放課後デイサービス暖母		支援プログラム (参考様式)		作成日		8年 3月 1日	
法人(事業所)理念		安心して利用でき、「心の支え」「豊かな生活の支え」を理念とし事業運営おこなう。							
支援方針		<p>小さな成長とちいさな成功の積み重ねを大切に支援する</p> <p>①その子を認め、長所を伸ばし「自分でできる事」を増やす。</p> <p>②その子に合った支援を行う。将来的に必要な「社会性」と「社会で屈しない力」を養う。</p> <p>③そのことご家族との連携を図り、思いやりのある「安全で安心した」質の高いサービスを提供する。</p>							
営業時間		平日：10：30～19：30 土祝・学校休業日：9：00～18：00		送迎実施の有無		あり		なし	
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・食事・睡眠・排泄・身支度など、生活リズムに関する課題を把握し、基本的な生活スキルが身に付くよう、一人ひとりの特性に応じた対応を家族と協力しながら支援します。 ・特性により乱れがちな食事面・睡眠面・排泄面等については、チェック表を用いて丁寧に分析を行い、個々の状況に応じた習慣化を段階的に支援します。 ・家庭との情報共有を積極的に行い、家庭での実践につながる方法を検討・提案するとともに、家庭で再現しやすい関わり方を意識した支援を行います。 ・家庭を中心に、行政・医療・教育・福祉事業所等と連携し、スモールステップを積み重ねながら、安定した日々の生活の流れの形成を支援します。 							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの特性に応じた感覚の過敏さ・鈍感さや、本人が心地よいと感じる感覚を丁寧に理解し、無理に慣れさせるのではなく、安心して参加できる活動設定を行います。 ・得意な力や興味関心を最大限に活かし、遊びや体験を通して、一人ひとりに合った身体の使い方や調整力を育てます。 ・支援にあたっては、個々の状態やペースに応じて、個別支援と小集団支援を使い分けながら、徐々に緩和や「できた」という実感を積み重ねられるよう支援します。 							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・生活するうえでのスキル、人と関わるためのスキル、集団参加のスキル、将来的な社会参加につながるスキルなど、さまざまな力を身に付けていく基盤として、**「注目する」「注意を向ける」「比較する」「試行錯誤する」**といった基本的な概念を大切にし、一人ひとりの発達段階や状況に応じて支援を行います。 ・スケジュールや視覚的手がかりを活用し、見通しをもって行動できるよう支援するとともに、ルールや順番を分かりやすく伝え、活動や場面の切り替えをサポートします。 ・行動の結果だけに着目するのではなく、行動の背景や要因を丁寧に理解した上で関わり、「できない理由」を子どもの中に探さず、環境・伝え方・タイミングを見直します。 ・強度行動障害対象児童には個別プログラムを作成し、環境分析から行った上で、事業所内に限らず、家庭やその他の生活場面でも安定した行動がとれるよう、段階的かつ計画的に支援を行います。 							
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・人と関わることや、大集団の活動に参加することなど、生活や社会参加に必要な力として、言葉の理解や、自分の思い・困りごと(SOS)を伝える方法やタイミングを、一人ひとりの困り感や発達段階に応じて支援します。 ・言葉だけに限らず、カードや身振り、行動など、本人に合った伝達手段を尊重し、「言わせる」ことを目的とするのではなく、思いがわかる経験を積み重ねることを大切にします。 ・支援にあたっては、個別支援とグループ支援を使い分けながら、体験や遊びの中で、安心して関わり、徐々に集団への参加につながるよう支援します。 							
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・放デイ利用の際に、個々の特性や課題をグループカリキュラムのチェック表で分析し、職員の仲介のもとでイベントや外出などでグループ活動を行う。 ・イベントなどの企画立案への個々にあった参加の方法を検討し、集団での活動を徐々に大きくして、大集団への一般的な支援を進める。 ・個々の特性や課題をグループカリキュラムのチェック表を用いて把握・分析し、職員の仲介のもと、イベントや外出等のグループ活動に取り組みます。 ・活動の企画にあたっては、一人ひとりに合った参加の方法や役割を検討し、無理に同じ形での参加を求めるとはせず、安心して関われる形から参加できるよう支援します。 ・個別・小集団での経験を基盤としながら、集団の規模や活動内容を段階的に広げていくことで、集団での活動への参加や、大集団への一般化につながる支援を進めます。 							
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後等デイサービスでの支援が安定してきた内容については、家庭での困り感の軽減や生活のしやすさにつながるよう、面談や家庭訪問を通して課題の共有と解決に向けた支援を行います。 ・事業所で有効であった関わり方や環境調整をもとに、家庭で再現しやすい方法を一緒に検討・提案します。 ・サポートブックの作成補助を行い、本人の特性や関わり方のポイントを共有することで、家庭や関係者が共通理解をもって関われるよう支援します。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・就労見学ツアーの実施等を通して、卒業後の生活や進路を見据えた環境に、保護者が実際に触れる機会を設けるとともに、子ども自身も作業体験などに無理のない形で参加できるよう支援します。 ・年間を通して計画的に取り組むことで、卒業後の環境に対する不安の軽減や見通しにつなげ、次の生活への移行を段階的に支援します。 ・サポートブックの作成補助を行い、本人の特性や関わり方のポイントを共有することで、家庭や関係者が共通理解をもって関われるよう支援します。 			
地域支援・地域連携	本人支援(人間関係・社会性)の環境として、地域の行事への参加を企画(役所主催のセミナー、イベント、避難訓練等)			職員の質の向上		同法人事業所全体での研修参加(事例検討会) 全国児童発達支援協議会研修参加 NP0ポーターズ協会研修参加			
主な行事等	お誕生日会、夏祭り(親子レク)・お花見・果物狩り(親子レク)・川遊び、ハロウィンパーティ、クリスマス会、味噌作り・JRT体験・バス体験・就労事業所見学会・体験利用会 防災訓練(交通安全体験学習・非常食体験学習、衛生管理体験学習)(保護者引き渡し訓練)								